

城

川の江城

飲食可 会議 展示・鑑賞

公式サイト



昭和に再建された国境の城は
海や桜の絶景を望む名所

南北朝時代に太守河野氏が土肥義昌に命じ岩として築かせた城で、別名「仏殿城」とも呼ばれます。讃岐、阿波、土佐の国境付近にあたる立地は交通の要衝であるとともに、多くの戦いの舞台ともなりました。当時の姿は本丸付近の石垣にわずかに名残が見られるのみ。現在の城は昭和59年の旧川之江市政施行30周年を記念して再建が始まり、61年に天守、涼櫓、櫓門などが整備されました。城山からは島々が浮かぶ美しい瀬戸内海を望むことができ、また桜の名所としても人気です。

ユニークポイント

- 燧灘(ひうちなだ)の海と瀬戸内の島々を見渡す絶景
- 春には瀬戸内ビューと満開の桜が一体となる美しい景色

活用実績

- 研修会
- 飲食を伴う会合
- 花見宴会

ユニークベニュー利用可能会場

施設内の 利用可能スペース	面積	人数	利用時間	利用料金 (税込)	備考
涼櫓・桜	8畳	20名程度	10:00～21:00	【10:00～16:00】 1時間1,000円 【16:00～21:00】 1時間2,000円	飲食可、 火気使用禁止、 1回2時間までの使用制限あり
涼櫓・松	8畳	20名程度	10:00～21:00	【10:00～16:00】 1時間1,000円 【16:00～21:00】 1時間2,000円	飲食可、 火気使用禁止、 1回2時間までの使用制限あり

施設情報

住所	四国中央市川之江町1087-4	アクセス	JR川之江駅から徒歩約18分、車で約5分
電話番号	0896-28-6267	備考	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在は利用を中止しており(10月31日現在)、令和5年4月からの再開を予定。なお、利用再開後も状況に応じて利用人数を制限する場合があります。
駐車場	普通 約10台		
問い合わせ先	0896-28-6187(四国中央市観光交通課)		